

大田市ゼロカーボンシティ宣言

近年、全国各地で集中豪雨や台風の巨大化等による災害が頻発化・激甚化するとともに、猛暑日が続く夏には熱中症が頻発するなど、私たちの生命や財産の危機、さらには自然環境や生態系への悪影響など、人類の生存基盤を根本から揺るがす「気候危機」と言うべき極めて深刻な事態となっています。

このような中、2015年に採択された、温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」では、世界共通の目標として、世界の平均気温の上昇を2℃未満にすること、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されています。2020年10月に、国は、この目標達成に向け「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と宣言しました。

大田市には、石見銀山遺跡や歴史的町並みなどの貴重な歴史・文化資源、また国立公園三瓶山に代表される豊かな自然環境と景観が残っており、市民一人一人が、この環境や資源に誇りを持ち、大切に守り続けてきました。

この環境や資源を次の世代へ継承していくためにも、本市は、2024年2月に大田市環境総合計画を策定し、“脱炭素社会づくりにトライするまち”を目指して、2050年カーボンニュートラルに向けた対策を明らかにしました。本計画を着実に進め、地球温暖化の防止に貢献するために「ゼロカーボンシティ」を宣言し、市民、事業者、行政が一体となって脱炭素社会の実現に向けた取組を推進してまいります。

令和6年2月28日

大田市長 **楫野弘和**